

学習習慣につなぐ「3つの力」をたくさん褒めてあげましょう

家庭学習は、単にテストの成績を上げようとするを目的にするではありません。子ども達が将来の夢や目標を実現するうえで、どのような困難や問題に直面しようとも、自分で学び考え、たくましく乗り越えてゆく力を育てるためです。親や教師から言われていやいや勉強するのではなく、自分の学習と生活の状況を自覚し、その反省に立った改善をしながら自分を高めていく力を身につけさせて学習習慣を育みたいものです。

学習習慣が身についている子どもには、「自ら学ぶ力」「計画を立てて学ぶ力」「継続して学ぶ力」があります。この3つの力に基づいている子ども達の姿を促し、見守り、励まし、たくさん褒めていきましょう。

<学習習慣につなぐ3つの力～こんな姿を見つけてあげましょう>

自ら学ぶ力

- 自分から進んで家庭学習をしている。
- わからないことを先生や友達、親に聞く。
- わからないことがあれば、辞書や参考書で調べている。
- まず、問題は自分の力で解こうとしている。
- ノートを自分なりにわかりやすく整理してまとめている。
- 図表、絵にして考えている。

等

計画を立てて学ぶ力

- 定期テストの前には、学習の計画を立てている。
- テレビやゲームを自制し、学習の時間を決めて最後までやり遂げている。
- 苦手教科も学習計画に組み入れている。
- 問題集のページ数等、学習量を考えて計画を立てている。
- 苦手な教科を克服する方法を考えている。
- テストで間違えたところは、必ず復習をする。

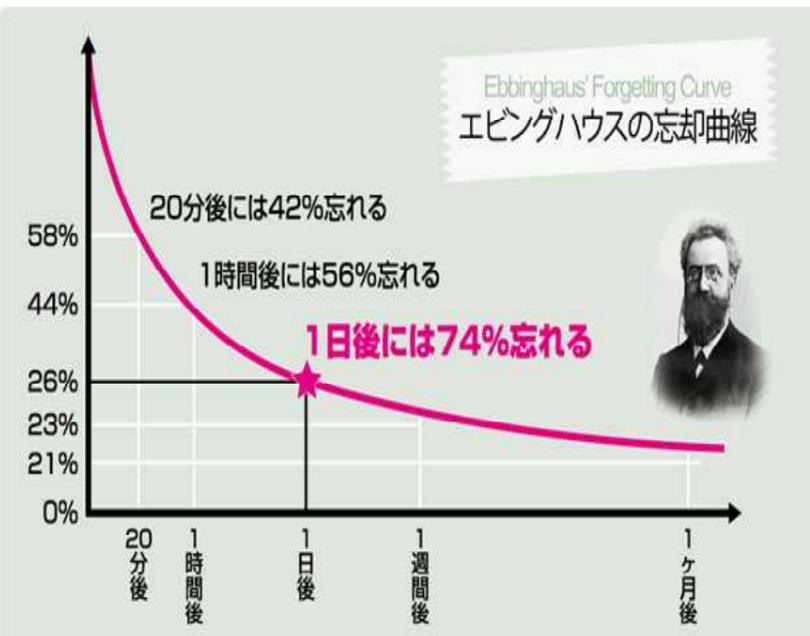
等

継続して学ぶ力

- 授業で出された課題は、必ずやり遂げる。
- 毎日、必ず宿題をやり遂げ、提出する。
- 家庭で予習や復習を少しずつでも毎日している。
- 土日、休日でも必ず家庭学習を行う。
- 夏休みや冬休みには、少しでも毎日家庭学習をする。
- 毎日、家庭で読書が続けている。

等

(参考 田中博之 著「子どもの総合学力を育てる」 ミネルヴァ書房)



人は忘れる！ だから勉強する！

～家庭学習の効果～

「授業ではわかっていただけれど・・・。」というこは、よくあることです。脳は、忘れるようにできているのです。授業終了20分後には、覚えたことの42%、1時間後には、56%を忘れてしまいます。1日後には74%を忘れてしまいます。でも、その日のうちに復習することによって、一気に思い出すとともに、その後何度も繰り返し学習することで絶対に忘れないものになります。



いいでの子どもをぐんぐんのばす!

家庭学習のすすめ

夢の実現のために!

飯豊町教育研究会

保護者の皆様へ

夢の実現のために「進んで学ぶ力」を育もう!

小学校、中学校では、子ども達が将来社会人として自立し、一人一人の夢を実現させるための基盤となる「学ぶ力」を育てています。「学ぶ力」とは、「これは、おもしろい。調べてみよう。」、「難しいけれど、わかったぞ。次はどうなるのかな。」と意欲を持って、知識や技能を活かし、見通しを持ちながら考える力です。このような力は、与えられた課題をこなすだけでは育ちません。自分の意志で、目的を持った学習を通してこそ育ちます。

そこで、飯豊町の全小・中学校では、小学校1年生から中学3年生まで家庭学習の学び方を系統的に積み上げていくこととして家庭学習の充実のための指導を行っています。

進んで学ぶ力は、一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで育ちます。子どもは、家族に認められ、励まされることで、自分らしさを感じ努力することに自信を持つようになります。

本パンフレットは、学校で指導している家庭学習の学び方を保護者の皆様にご理解いただくものです。各家庭と学校とが協力して、小学校から中学校までを見通しながら、子どもに「進んで学ぶ力」を大きく育てていきましょう。

<家庭で>

- ◇生活リズム
- ◇学びの環境
- ◇見守り・見届け
- ◇認めと励まし
- ◇日頃の語らい

進んで学ぶ力

確かな学力

<学校で>

- わかる授業
- 学び方指導
- 意欲付け
- 認めと励まし

学習習慣

学習の仕方

充実した家庭学習にするために

- 1 生活リズムを整えましょう。～朝食、睡眠時間を一定に保つことは一番の基盤です。
- 2 毎日、決まった時刻に学習を開始するように習慣づけましょう。
- 3 学習に集中できる環境をつくりましょう。
～テレビを消す 不要なものを片付ける 同じ場所で
- 4 宿題は、学校の授業と関わって出されます。宿題は、必ずしなければならない、という意識を低学年から持たせましょう。
- 5 子どもの努力をたくさん褒めましょう。また、日常の親子の語らいが、夢を育み、将来の生き方にもつながります。努力に対する意欲が高まります。



小学校1～2年

<めざす姿>

「できる」「わかる」と感じて
楽しんで学習する

■ こんな時期です

- 何でも知りたがり、やってみたい。
- できたこと、わかったことがうれしい。
- 一人で学習することや、学習内容を決めることはまだ難しい。

■ かかわりのポイント

ほめて学習の習慣を身につけさせる

- 1 基本的な生活の習慣を身につける。
 - ・早寝、早起き、朝ご飯
 - ・整理整頓
 - ・ゲーム時間を守る
 - ・学習用具の準備
 - ・学習を始める時間
- 2 学びの環境を整える。
 - ・テレビを消す
 - ・決まった場所で学習
 - ・身近な場所に子どもに合った本を置く
- 3 見守り、見届け、たくさんほめる。
 - （そばに家族がいると安心します。）
 - ・どのような学習をしているか見守る。
 - ・できるものは、まるつけをし、間違っただものは直すように声がけする。
 - ・直接ほめ、ノートに一言コメントを書いて励ます。

■ 学習のやり方

- 1 学習時間 10分×学年+10分
 - 1年生 = 20分～
 - 2年生 = 30分～
- 2 ノートに記入すること
 - 日付
 - （可能な場合は、開始時刻と終了時刻）
 - めあて
 - 「ひらがなれんしゅうをしよう。」等
- 3 終わったら
 - できるものはまるつけをする。
 - （初めのうちは、保護者をお願いします。）
 - まちがいを直す。
 - 慣れてきたら、ふり返りの感想を書く。
 - 「～が書けるようになったのでうれしいです。」



小学校3～4年

<めざす姿>

工夫して学習する楽しさを味わい
進んで学習する

■ こんな時期です

- 興味が広がり、行動も活発になる。
- 好きなことを優先しがちになる。
- 自分でやろうとすることが増えるが、まだまだ、大人の手助けや見届けが必要。

■ かかわりのポイント

努力を認め、ほめて、自信をつける

- 1 学習を始める時間を一緒に決める。
 - ・テレビやゲームの時間の約束を話し合う。
 - ・帰宅後の生活（遊び、学習、手伝い、食事、入浴等）について話し合い、時間を意識して生活させ、自律につなぐ。
- 2 自分でできることは、自分でさせる。
 - ・一つ一つのことが自分でできるようになったことを一緒に喜び、自立心を育む。
 - ・任せきりにせず、温かな励ましとアドバイスをしやる気を引き出す。
- 3 心を寄せて見届け、励まし、ほめる。
 - ・ノートやプリントに目を通す。
 - ・学習の様子を見届ける。（丁寧さ、内容、正確さ等）
 - ・意欲を引き出す言葉がけをする。

■ 学習のやり方

- 1 学習時間 10分×学年+10分
 - 3年生 = 40分～
 - 4年生 = 50分～
- 2 ノートに記入すること
 - 日付と開始時刻、終了時刻
 - めあて
- 3 終わったら
 - 練習問題は答え合わせをする。
 - 間違いを直す。
 - 次につながるふり返りの感想を書く。
 - 「～を練習して、早くできるようになった。明日は、〇分を目指して練習したい。」



小学校5～6年

<めざす姿>

努力を通して成長を実感して
意欲的に学習する

■ こんな時期です

- 得意、不得意の感情がはっきりしてくる。
- 他の児童との比較や関係を意識する。
- わかりたいという欲求が高まる。

■ かかわりのポイント

子どもと語り合い、努力を認める

- 1 基本的な生活の習慣を見直す。
 - ・学校の役割、スポ少等の忙しさに流されず、学習時間や就寝時間が守られているか、テレビやゲーム等の約束が守られているか再度見直す。
 - ・学習開始の時間を決める。（学習時はテレビを消す。）
- 2 学習について子どもと話題にする
 - ・学習の内容を話題にして語り合うことで、安心感を持たせ、意欲を高める。
- 3 目標をもって努力することの大切さを語り合う。
 - ・目標を語り合い、日々の努力や成長を褒めて、自信と次への意欲につなぐ。
 - ・将来の夢や生き方につながることで語り合う。



■ 学習のやり方

- 1 学習時間 10分×学年+10分
 - 5年生 = 60分～
 - 6年生 = 70分～
- 2 ノートに記入すること
 - 日付と開始時刻、終了時刻
 - めあて
 - 内容
 - ・見やすいノート
 - ・丁寧な字で
 - ・計算や考え方の足跡を残す
 - ・ポイントや説明を図や文で書く
- 3 終わったら
 - まるつけと間違い直しをする。
 - 次につながる振り返りを書く。
 - 「授業でわからなかった～をもう一度やってみたらできるようになった。〇〇すればよいことに気がついたので、使いたい。」

中学生

<めざす姿>

自己実現を目指して自分の学び
を見つめて主体的に学習する

■ こんな時期です

- 自我の確立に向け、自分の意思で物事を決定したいという気持ちが強くなる。
- 小学校時代に得意だった機械的な記憶よりも論理的な記憶力が発達してくる。
- 進路目標を持ちながらも、「勉強方法がわからない」「努力しても成果が上がらない」「親の期待が高い」「勉強に意味を見いだせない」等様々な悩みに揺れている。

■ かかわりのポイント

よき理解者、応援団、時に道しるべに

- 1 日頃の会話を大切に、子どもと親の気持ちや考えを交わす中で、将来の目標や志を育む。
- 2 決まった時間に集中して学習できるようにする。
 - ・生活リズムを整える。（食事、睡眠）
 - ・スマホやPC、テレビの時間を考える。
- 3 結果だけでなく、努力している姿や小さな変化、伸びを褒める。（目と心を寄せる）

■ 学習のやり方

- 1 学習時間 週あたり
 - 1年生 = 10時間～
 - 2年生 = 12時間～
 - 3年生 = 14時間～
- 2 ノートに記入すること
 - 日付と開始時刻、終了時刻
 - 項目（学習課題、出典など）
 - まとめ型：図解する ポイント
 - ドリル型：確認テスト欄をつくる
 - 問題練習型：問題の答えのみを書く
 - 答え合わせと間違い直し
- 3 終わったら
 - まとめ型：重要ポイントにマーカーチェック、見直し
 - ドリル型：確認テスト
 - 覚えるまで練習
 - 問題練習型：間違っただけの問題を抜粋する
 - わからないことの質問
 - 「ふり返り」を書く。

